

はむら 市議会だより

No. 76

(通巻No.185)

平成20年8月15日発行
羽村市議会
〒205-8601

東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1

☎ 042(555)1111

ホームページアドレス
<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>



夏休みだ！いっぱい遊ぶぞ！（水上公園）

第3回（6月）定例会
第2回（5月）臨時会

一般質問	市政を問う（14人の議員が一般質問）	2ページ
市長提出議案	21件の議案を審議	12ページ
議員提出議案	4件の議案を審議	13ページ
陳情	1件の陳情を審議	15ページ

市政を問う

いしい ひさお
石居 尚郎 議員
(公明党)



- ◇危機管理体制の強化・充実を
- ◇わかりやすい行政の努力を
- ◇子ども農山漁村交流プロジェクト

危機管理体制の強化・充実を

質問 地域防災計画はどう見直したか。

市長 各防災関係機関の最新の対策、対応手順等に改めるなど、実効性のある計画とし、一層の防災体制の強化を図った。

質問 根がらみ前水田周辺水害対策は。

市長 国に対し土砂除去など治水対策を要望していく。排水ポンプを1基増設して3基とする。今後は水上公園付近の開渠部のかさ上げを実施予定である。

質問 幼稚園・保育園・公共施設等の耐震化はどのように進めるのか。

市長 私立幼稚園3園、市立保育園3園、私立保育園6園、その他21公共施設の耐震対策が必要である。今後優先順位を定め、計画的に耐震診断を実施し、耐震化のための改修を鋭意実施する。

質問 消防団協力事業所表示制度推進は。

市長 より地域の消防・防災力の充実強化が図れると考えられるので、制度導入に向けた検討をする。

質問 「羽村市生活安全条例」の策定時期と実効性のある推進計画の整備は。

市長 12月の定例議会で提案し、決定後直ちに施行したい。また、条例施行と同

時に活動ができる実効性のあるものとするため、推進計画を取りまとめている。

質問 感染症対策の取り組みは。

市長 広域的連携で行うべきと考える。

質問 危機管理のための情報システムの構築を急ぐべきではないか。

市長 情報を積極的に収集し、その構築について研究を進めていく。

質問 わかりやすい行政の努力を

質問 市民の目線でわかりやすい言葉を使用することを継続する取り組みは。

市長 文書ハンドブックを時代に対応できるマニュアルに改訂し、その周知のため職員研修を実施していく。

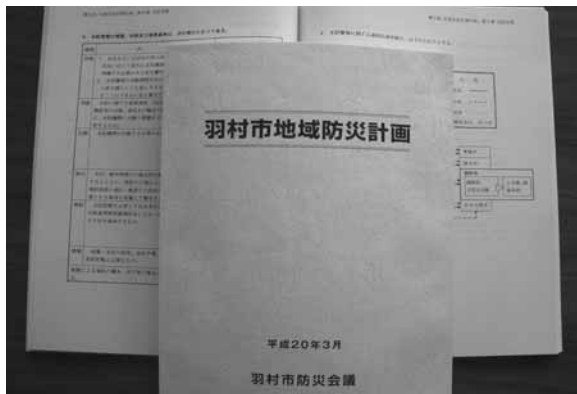
子ども農山漁村交流プロジェクト

質問 市はどのようにとらえているか。

教育長 意義は十分に認識している。

質問 「羽村市生活安全条例」の策定時期と実効性のある推進計画の整備は。

市長 12月の定例議会で提案し、決定後直ちに施行したい。また、条例施行と同



▲羽村市地域防災計画

平成20年第3回羽村市議会(定例会)を、6月10日から27日までの18日間の会期で開きました。

開会初日には市長から、市政についての所信表明がありました。

6月10日、11日、12日には、14人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。

※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
(新しい風)



- ◇公共施設の維持管理について
- ◇障害者福祉事業への支援策は
- ◇地域力向上に向けた取り組みを

公共施設の維持管理(ストックマネジメント)について

質問 スtockマネジメントの主な課題は、
市長 大規模な改修や維持補修が伴う場合があることから、長期の予算の平準化が課題である。

質問 公共施設(特に集会、学校施設)の耐震化の状況と今後の計画は。

市長 学校施設はすべて完了している。地域集会施設10施設、市立保育園3園、市役所西庁舎、スポーツセンターなどは今後耐震診断を実施し、計画的に耐震化を図る。

障害者福祉事業への支援策について

質問 市内のNPO法人「障害者団体連絡会そよかぜ」等が安定的に運営され、今後さらに発展していくために市はどのように考えているか。

市長 法律等による新たな事業体系への移行、安定財源の確保により経営基盤を確立することや、社会福祉法人化・新施設建設に向けた取り組みなどにより、「地域の福祉力」の一翼を担う自立した法人へ発展されることを願っている。
質問 市はどのような支援を行うか。

市長 新施設建設用地として市所有地の貸与等を予定している。

○その他、西多摩初の「障害者就労支援センター(仮称)」の開設進捗状況や運営委託先、事業運営の方針、今後の展開等を質問しました。

地域力、福祉力向上への取り組みは

質問 認知症での徘徊等の対策について「地域力」を生かしたネットワークづくりが必要と考えるがいかがか。

市長 「認知症サポーター100万人キャラバン」などの取り組みを検討する。

質問 町内会とPTAとの連携状況は。

教育長 3月に懇談会を開催し、意見交換を行った。町内会とPTAの連携による新たな地域づくりの第一歩が踏み出せたものと考えている。



▲耐震化の完了した松林小学校廊下